

市政功労賞・善行賞受賞者

市の公益増進や市政の振興発展に貢献された方々にお贈りする市政功労賞と奉仕活動や善行のあった方々にお贈りする善行賞の受賞者が決まりました。市制施行15周年を迎える11月1日に表彰状を贈呈します。

【市政功労賞】

英 成樹さん（上野桑町）



旧上野市議会議員を3期（9年6カ月）、伊賀市議会議員を2期（4年5カ月）と永きにわたり議会議員を務められ、地方自治の振興発展に大きく貢献されました。

この間、上野市議会では、副議長、産業経済常任副委員長として、伊賀市議会では、中心市街地活性化対策特別委員長として、議会の円滑な運営と地域発展に尽力されました。

八尾 光祐さん（上野三之西町）



平成17年7月の上野西部地区住民自治協議会設置時から13年10カ月の永きにわたり、住民自治協議会長を務められ、地域社会の発展に大きく貢献されました。この間、伊賀市上野住民自治地区連合会では4年間会長に就任し、会の円滑な運営に寄与されました。

また、伊賀市人権政策審議会はじめ多くの市附属機関などの委員を務め、各施策の推進に尽力されました。

鹿野 俊介さん（大阪府岸和田市）



「サンピア伊賀」の施設代表者として、平成13年6月から17年の永きにわたり、（一社）伊賀上野観光協会の理事・副会長を務められ、市や観光協会が行う観光PR事業に積極的に参画し、情報発信と観光誘客に尽力されました。

また、官民共同組織「伊賀のほんまもん協議会」の会長も務められ、県内外で伊賀産品のPRなどを展開され、市の観光振興に大きく寄与されました。



福森 隆久さん（上野西大手町）

旧上野市消防団団長及び上野市消防委員会委員を4年間、伊賀市消防委員会委員を14年間の永きにわたり務められ、消防の向上に大きく貢献されました。

この間、伊賀市消防委員会委員長を13年9カ月務められ、消防団員の待遇改善、消防及び救急力の整備など、伊賀市消防の発展と効率的な運営を図ることに尽力されました。



藤井 充子さん（上野丸之内）

（公財）芭蕉翁顕彰会の理事を12年10カ月の永きにわたり務められ、芭蕉顕彰と俳句啓発や市の文化振興に大きく貢献されました。

芭蕉祭では芭蕉翁献詠俳句「児童・生徒の部」の選者を35年務められるほか、自ら芭蕉顕彰・俳句啓発を行うべく句会の開催や指導を行うなど、俳句人口の増加に尽力されました。



故 上田 保隆さん（霧生）

芸術家として、伊賀忍者を主人公にした司馬遼太郎の小説「臯の城」に感銘を受け、伊賀者の化身として「臯」を生涯にわたり描き

【善行賞】

続けられ、伊賀の歴史と伝統を誇りにし、絵画活動を通して伊賀の風土に育まれた感性を追求されました。伊賀市民美術展覧会（市展「いが」）で、運営委員を9回、平成23年度には運営委員長を務められ、市の文化振興に大きく貢献されました。



松本 三三さん（下郡）

自宅前の木津川河川敷と堤防約300メートルの草刈りを11年の永きにわたり自主的に続けられ、地区の美観維持、不法投棄抑制による環境維持などに貢献されています。



近年は、四季の花が咲く花壇の整備や彼岸花の植栽などを行い、地域住民が集う憩いの場作り年間を通じて献身的に取り組んでおられ、地域の奉仕活動の模範とされています。

伊賀越株式会社（上野茅町）

平成22年度から10年の永きにわたり、いがっこ給食センターで調理し中学校9校に配食される給食材料として、天然醸造のしょうゆとみその寄贈を毎年続けられています。

郷土の食文化を子どもたちへ伝える食育と安全安心な給食を提供し、子どもたちの健やかな成長に繋げる市の学校給食事業に大きく貢献されています。

奈良県山添村と定住自立圏形成協定を締結しました

定住自立圏ってなに？

現在、地方では人口減少が加速し、単独の市町村で医療や公共交通などの生活機能を維持・確保することが困難になりつつあります。

このような課題を解決するため、同じ生活圏の市町村が連携して、医療や産業振興、公共交通などの生活機能を全体で確保し、住民の定住につなげることを目的とした取り組みを「定住自立圏構想」といいます。

伊賀市では

伊賀市は、平成28年10月に京都府笠置町・山城南村と定住自立圏形成協定を締結し、「伊賀・山城南定住自立圏」として、共生ビジョンに基づき圏域の活性化や住民の利便性の向上に繋がる事業に取り組んでいます。

山添村ってどんなところ？

奈良県の北東端に位置し、大和茶の栽培が盛んです。観光の中心である県立月ヶ瀬神野山自然公園はつじ、鍋倉溪、神野寺などで知られ、鍋倉溪には、たくさんの大きな岩が何百メートルにもわたって重なっており、天狗同士のけんかで投げられた岩と伝えられています。

また、藤堂藩にゆかりがあり、歴史的にも伊賀市とつながりが深い地域です。そのため従来から、買い物、医療、通勤・通学など日常生活での人の流れや、住民相互の交流があります。



てんまる
(山添村キャラクター)



山添村の茶畑

新しい仲間が加わりました

今回新たに、奈良県山添村が加わることになり、10月8日に伊賀市と定住自立圏形成協定を締結しました。

今回の協定締結により三重県・京都府・奈良県の3つの府県、また関西圏・東海圏をまたぐ、全国的にも珍しい定住自立圏を形成することになり、圏域の名称も「伊賀・山城南・東大和定住自立圏（略称：伊賀城和定住自立圏）」と変更します。

医療や防災、観光などの取り組みを4市町村で連携し、魅力ある圏域をつくり、定住の促進に繋げていきます。



忍茶 (伊賀・山城南・東大和定住自立圏キャラクター)



締結式の模様



鍋倉溪

【問い合わせ】総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp